



2025年5月20日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 リ グ ア
代 表 者 名 代表取締役社長 川瀬 紀彦
(コード番号：7090 東証グロース)
問 合 せ 先 取締役管理部長 大浦 徹也
(TEL：06-7777-0159)

(訂正) 「2025年3月期 決算説明資料」の一部訂正について

2025年5月13日に公表いたしました「2025年3月期 決算説明資料」の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

なお、開示済みの「2025年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」の数値に訂正はございません。

記

<訂正の内容>

訂正箇所は赤線で囲んでおります。

(次ページに続く)

(別紙)

「2025年3月期 決算説明資料」

【P20 訂正前】

通期業績予想 / 2026年3月期の重点施策

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
業績予想 2026年3月期 (百万円)	3,344	95	50	25
実績 2025年3月期 (百万円)	2,873	△153	△185	△301
増減率	16.4%	-	-	-

2025/3期における課題
ウェルネス事業/ファイナンシャル事業

IFMCの売上の一時的な落ち込みと、 導入院の伸びの鈍化
営業人員の減少
Webマーケティング売上の減少
人員増による販管費増に比して収益の伸び悩み

2026/3期の対策と取り組み方針

▶ 新サービスのリリース(1Q中を予定)と展開強化
▶ 既存のIFMC導入院に対するサポート体制の強化と販売支援
▶ IFMC他社コラボ(BtoB向け加工事業)の展開強化、コンシューマー向け自社商品の開発と販売強化
▶ 昨春・今春の新卒入社社員の戦力化と、中途採用の促進
▶ インサイドセールス及びCS(カスタマーサクセス)部門の強化による取引院数増加とセルアップ
▶ マーケティング支援に強みを持つCS-C社と業務提携し、接骨院向けの集客支援ソリューションの共同展開
▶ クロスセルの重視から、個別の商品特性に応じた組織体制の見直しにより、利益の確保を優先

【P20 訂正後】

通期業績予想 / 2026年3月期の重点施策

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
業績予想 2026年3月期 (百万円)	3,344	95	50	25
実績 2025年3月期 (百万円)	2,872	△154	△186	△301
増減率	16.4%	-	-	-

2025/3期における課題
ウェルネス事業/ファイナンシャル事業

IFMCの売上の一時的な落ち込みと、 導入院の伸びの鈍化
営業人員の減少
Webマーケティング売上の減少
人員増による販管費増に比して収益の伸び悩み

2026/3期の対策と取り組み方針

▶ 新サービスのリリース(1Q中を予定)と展開強化
▶ 既存のIFMC導入院に対するサポート体制の強化と販売支援
▶ IFMC他社コラボ(BtoB向け加工事業)の展開強化、コンシューマー向け自社商品の開発と販売強化
▶ 昨春・今春の新卒入社社員の戦力化と、中途採用の促進
▶ インサイドセールス及びCS(カスタマーサクセス)部門の強化による取引院数増加とセルアップ
▶ マーケティング支援に強みを持つCS-C社と業務提携し、接骨院向けの集客支援ソリューションの共同展開
▶ クロスセルの重視から、個別の商品特性に応じた組織体制の見直しにより、利益の確保を優先

以上